

特別養護老人ホーム 和みの郷 事業報告

1. 概況報告

昨年度末に発生した新型コロナウイルスのクラスターにより、在宅サービスの利用者が激減したが、利用者や家族、ケアマネジャーのニーズ把握と地域状況を検討することで、各サービスとも利用者が回復した。グループホームとケアハウスの入居型施設においても、前者は年度当初より後者も年度途中の11月から満床となった。ケアハウスにおいては退去もあったが、入居の準備を早めることで満床を継続することができた。その一方で、特養においては一年間の退所が30名を超え、入退所の対応等職員の負担が増したことや空床の期間が長くなったことにより厳しい運営となった。

施設整備においては経年劣化による建物や備品の損耗が見られ、エアコンが各所で壊れたため入居者・利用者の皆様に大変な思いをさせてしまうこととなった。

当施設では初めてとなる外国人の採用を行い、カンボジアから2名の男性を迎え入れた。生活上のサポートを含め、個々の能力に応じた育成・指導を行なうことで職務に従事している。慢性的な職員不足を解消するため、求人情報の発信方法や採用方法の見直し等を行ったが、職員不足が継続しているため、外国人雇用と積極的な職員採用を行いながら、事業の運営方法を見直すことも今後の課題に挙げられる。

令和4年度から計画していた第三者評価を受審し、日々の介護や組織運営を振り返ることができ、調査員からアドバイスを受けることで、より良い介護を行うことに繋げることができた。

新型コロナウイルスに罹患する職員も見られたが、職場内に蔓延することがなく、日頃の感染予防の重要性を改めて認識することとなった。また、感染法上5類に移行したことを受け、地域の感染状況に応じて、面会や行事の実施を検討し入居者・利用者のより豊かな生活に向けて取り組むことができた。

(1) 各事業

①特養（介護老人福祉施設）

特養、ショートの一体化運営を検討してきたが、ショート利用者の増加等に伴い年度途中から一体運営の検討を見合わせる事となった。外国人雇用を8月から開始し、課題はあるが順調に業務を行えている。今年度、入浴機器のデモを試行し、来年度に向けて導入を検討した。

②ショートステイ

接遇の課題については各職員が問題意識を持つことで改善し、接遇の改善に対する意見が聞かれなくなった。職種間の連携については、相談員の兼務等もあり以前よりは連携を取りやすくなったが、今後もより良い連携を図れるよう取り組んでいく。

③デイサービス

看護師の配置により、医療面での不安や健康相談・体調不良者へ迅速に対応し、家族・ケアマネ、他サービスとの情報の共有ができ、自宅での生活が維持できるようサービスを提供することができた。また感染対策をした上で、行事企画を開催し、利用者・家族・ケアマネにも喜んで貰える機会が増えた。

④グループホーム

感染対策に取り組みながら居室面会再開など状況に合わせて制限を緩和し、利用者の生活の質の向上に繋がった。また、職員間でリスクの共有を意識的に行うことにより大きな事故や感染症の発症を防ぐことができた。更に隣接する小規模と情報共有して助け合うことができた。

⑤小規模多機能ホーム

利用者・家族のニーズに応えながら、サービス内容の見直しが出来てきた。在宅生活を継続するために必要な援助を職員間で共有し実践できた。コロナ感染対策を継続しながらご利用者が楽しめる行事も増やしていくことができた。グループホームと情報共有を行い、協働することができてきた。

⑥ケアハウス

施設設備の経年劣化や故障が発生した際は労務と連携して必要な修繕を行い、安心できる生活環境を提供してきた。入居者が活動的になってきておりフレイル予防の意識向上が図れている。自主的・継続的にフレイル予防の活動に参加できる環境づくりが課題となった。

(2) 運営管理

①事務

会計指導を通して会計の適正化を図った。またホームページを随時更新し利用者、家族へPR強化に努めた。施設設備の更新については、エアコン、機械浴槽の検討を行ったが、更新については次年度以降に見送った。

②看護

新型コロナウイルス感染症が5類に移行した中で、委員会を通しての情報発信、基本的対策と実施の徹底を繰り返し伝えることで職員の発症はあっても拡大はなかった。他職種との相互理解と連携強化に於いて、個々のケアの提供はできているが、他職種との相互理解の部分で考えにズレや伝えにくさが残っており、連携においては今後も課題として残る。

③食事

サービス向上の開催方法を情報の共有から、職員を専門チームごとに分け開催した結果、日々の清掃個所の見直しやヒヤリハットの分析などを組織全体で課題に向き合えた。行事についても、季節に合わせて折り紙やお品書きを提供し、ご利用者に楽しめる様に工夫した。人員については、管理栄養士の入職により、職員配置を行ったが欠員の補充までに至らなかった。又、管理栄養士の引継ぎや教育には課題が残った。

2. 施設概要

令和6年3月31日現在

名称	特別養護老人ホーム	和みの郷	
事業内容	第1種社会福祉事業	※特別養護老人ホーム	定員 80人
		軽費老人ホーム(ケアハウス)	定員 30人
	第2種社会福祉事業	※老人短期入所事業	定員 20人
		※通所介護事業 地域密着型	定員 18人
		※認知症対応型共同生活介護事業	定員 9人
		※小規模多機能型居宅介護事業	登録人数 25人
	その他の事業	総合事業第1号通所事業(現行相当サービス)	
	配食サービス事業	(※印は介護保険指定事業)	
所在地	静岡県沼津市大平1538-1		
敷地面積	7,513.34㎡		
建物規模構造	特養・ケアハウス	鉄筋コンクリート造3階建	7,041.03㎡
	グループホーム・小規模	木造合金メッキ鋼板ぶき平屋建	523.35㎡
運営開始日	特養	平成14年4月1日	
	小規模多機能ホーム	平成26年4月1日	

居室タイプ別床数

	個室	2床室	3床室	4床室	合計床数
1階	10		2	2	24
2階	35		4	4	63
3階			5	7	43
平屋	18				18
合計室数	63	0	11	13	148

3. 施設整備状況

年 月 日	物 件 名	数量	目 的 ・ 用 途
令和5年5月23日	非常用照明不良個所修繕	1	老朽化による修繕
令和5年6月6日	事務パソコン更新	1	老朽化による更新
令和5年6月7日	公用車更新	1	老朽化による更新
令和5年6月28日	グループホーム乾燥機買換え	1	老朽化による更新
令和5年6月29日	消防設備不良個所修繕	1	老朽化による修繕
令和5年8月26日	ケアハウス屋根、外壁修繕	1	老朽化による修繕
令和5年12月15日	厨房ファンモーター更新	1	老朽化による更新
令和5年12月22日	ケアハウス電気給湯器更新	1	老朽化による更新
令和6年1月15日	デイサービスエアコン修繕	1	老朽化による修繕
令和6年2月23日	ケアハウス給湯管修繕	1	老朽化による修繕

4. 施設の開放状況（施設の開放）

開 放 先	内 容	回数
なし		

5. 職員派遣状況

派 遣 先	派 遣 者	内 容	回数
静岡県社会福祉人材センター	山本 重治	福祉の魅力発見セミナー講師	2
静岡県社会福祉人材センター	鈴木 麻美	福祉の魅力発見セミナー講師	2
沼津市立看護専門学校	山根 圭介	非常勤講師	5
静岡県社会福祉士会	白田 和幸	基礎研修運営スタッフ及びファシリテーター	6

6. 施設の開放状況（ボランティアの受入状況）

団 体 名	年間回数	1回当たり平均人数	延べ人数
なし			

7. 研修受入状況

受入事業所	受入団体名	内 容	受入人数
特別養護老人ホーム 和みの郷	静岡福祉大学	社会福祉士実習	2
特別養護老人ホーム 和みの郷	日本福祉大学	社会福祉士実習	1

8. 事業別利用状況

(1) 特別養護老人ホーム 利用状況

①入所状況（定員：80人）

（4月1日～3月31日）

期首在所	期中入所	期中退所	期末在所	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
79	30	32	77	28,268	77.2	144	0

②介護度別入所者数

（4月1日～3月31日）

区 分	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	計	平均介護度
男	46	69	58	0	0	173	3.9
女	254	328	211	0	0	793	4.1
計	300	397	269	0	0	966	4.0

(2) ショートステイ 利用状況 (定員：20人) (4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防			合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援1	要支援2	小計	
利用者延人数	459	344	1,226	576	635	3,240	24	249	273	3,513
									一日平均	9.6

(3) デイサービス地域密着型 利用状況 (定員：18人) (4月1日～3月31日)

	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	要支援2	要支援1	事業対象者	自主事業 (自費)	合計
利用者実人数	8	22	54	53	114	76	24	37	0	388
利用者延人数	88	203	537	546	934	619	103	252	0	3,282
開所日数	257	257	257	257	257	257	257	257	0	257
									一日平均	12.8

(4) グループホーム 利用状況

①入居状況 (定員：9人) (4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在所	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数	ショート 空床利用数
9	2	2	9	3,287	9.0	0	0

②介護度別入居者数 (4月1日～3月31日)

区分	介 護						予 防		合計
	要介護5	要介護4	要介護3	要介護2	要介護1	小計	要支援2	小計	
入居者数	0	0	72	20	18	110	0	0	110

(5) 小規模多機能ホーム 利用状況 (定員：25人) (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登録人数	18	17	18	18	20	21	22	23	23	23	24	24	251
訪問延数	481	469	427	522	553	549	627	627	510	386	386	486	6,023
通い延数	291	281	262	272	300	262	277	328	297	299	312	345	3,526
宿泊延数	169	164	159	160	174	134	146	168	118	152	171	183	1,898
利用延数(計)	941	914	848	954	1,027	945	1,050	1,123	925	837	869	1,014	11,447

(6) 軽費老人ホーム(ケアハウス) 利用状況

①入所状況 (定員：30人) (4月1日～3月31日)

期首在所	期中入所	期中退所	期末在所	期中延数 外泊含まず	1日平均 在所数	在籍中 入院延数
28	11	9	30	10,491	28.7	351

②入所人数 (定員：30人) (4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
各月初日の実人数	28	28	28	28	28	27	27	30	30	30	30	30	344

(7) 配食サービス 利用状況

(4月1日～3月31日)

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用実人数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24
延食数	45	50	48	36	39	47	48	48	41	47	45	46	540
オリジナル利用実人数(自主事業)	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	17
延食数	33	36	34	31	32	26	26	26	26	27	25	26	348

9. 事故・苦情報告

(4月1日～3月31日)

区 分	特養	ショート	デイ一般	デイ認知	ホームヘルプ	Gホーム	小規模	ケアハウス	居宅支援	包括	配食	合計
事 故	8	0	0			1	0	0			0	9
苦 情	0	1	0			0	1	0			0	2

10. 職員常勤換算数前年対比

(3月31日現在)

	前年度末人員		当年度末人員	
	職員数	常勤換算数	職員数	常勤換算数
常勤職員数	73	73.0	76	76.0
非常勤職員数	51	28.9	46	24.6
合 計	124	101.9	122	100.6